

今年も一年安全運転に努めましょう



松江市

交通安全協会会報

2018.1

Vol. 63

(平成 29 年度版)

発行所 一般社団法人 松江市交通安全協会 松江市袖師町 5-10 (松江警察署内) TEL24-8782 (FAX 兼用) 松江市安協

新春を迎えて

(一社) 松江市交通安全協会

会長 三島 進



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様方には、穏やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年中は、会員の皆様や地域の皆様方による日々の地道な活動により、お蔭さまで交通事故の総量を減少させることができました。心より感謝申し上げます。

交通事故が平穏な日常生活を一瞬にして奪い去ることは言を俟たないところであり、当協会と致しましては本年もこのような交通惨禍を限りなくゼロに抑え込むよう取り組む所存であります。

とりわけ、本県は交通事故死者全体に占める

高齢者の割合が著しく高い状況が長く続いており、また高齢者が加害者となる交通事故も多発していることから、当協会では「高齢者の交通事故防止」を最重点課題に据え、中でも

- ◎ 安全な道路横断
- ◎ 反射材の着用
- ◎ 運転適性の自覚

の3点について、高齢者自身が自らの問題としてとらえて頂けるよう、参加・体験型交通安全教育などのきめ細かな活動を展開して参りたいと考えております。

当協会の掲げる対策を強力かつ円滑に推進するため、皆様方から、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様方にとりまして交通事故のない明るく良い年でありますように、そして、ご家族皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。新年の挨拶と致します。

定時総会の開催

6月13日(火)、松江市殿町「島根県民会館」において、役員、正会員257名中236名(委任状含む)の出席を得て、(一社)松江市交通安全協会の定時総会が開催されました。

総会は、第1号議案「平成28年度収支決算報告」が審議され、異議無く承認可決され、「平成28年度事業報告」「平成29年度事業計画」「平成29年度収支予算」「松江市交通安全協会会費規程の一部改正」等の報告事項についても、満場一致で承認されました。

※収支決算・収支予算については、P2に登載

おわりに、乃木地区交通安全協会の永岡 美恵子氏が、交通安全社会の実現をめざす「宣言(案)」を朗読され、満場一致で採択されました。



会長あいさつ



宣言(案)朗読

収支決算・収支予算報告

平成 28 年度 収支決算(総括表)
平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで (単位円)

平成 29 年度 収支予算(総括表)
平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで (単位円)

科 目	一般会計	特別会計	合 計
【収入の部】			
会 費 収 入	33,084,900	0	33,084,900
補 助 金 等 収 入	330,000	0	330,000
寄 付 金 収 入	728,164	0	728,164
委 託 料 収 入	0	3,100,000	3,100,000
事 業 収 入	0	1,557,792	1,557,792
売 上 収 入	0	2,920,007	2,920,007
手 数 料 収 入	0	89,330	89,330
雑 収 入	317,144	4	317,148
当期収入合計(A)	34,460,208	7,667,133	42,127,341
【支出の部】			
事 業 費	24,261,790	3,990,795	28,252,585
管 理 費	12,294,914	0	12,294,914
繰 入 金 支 出	200,000	0	200,000
売 上 原 価 (仕 入)	0	3,749,296	3,749,296
事業活動支出計	36,756,704	7,740,091	44,496,795
事業活動収支差額(A)	△ 2,296,496	△ 72,958	△ 2,369,454
特定預金取崩収入	3,331,734	0	0
活動収入計	3,331,734	0	0
固定資産取得支出	403,380	0	0
特定預金支出	1,022,502	0	0
活動支出計	1,425,882	0	0
活動収支差額(C)	1,905,852	0	0
当期収支差額(A)+(C)	△ 390,644	△ 72,958	△ 463,602
前期繰越収支差額	3,178,776	△ 1,802,071	1,376,705
次期繰越収支差額	2,788,132	△ 1,875,029	913,103

科 目	一般会計	特別会計	合 計
【収入の部】			
会 費 収 入	32,500,000	0	32,500,000
補 助 金 等 収 入	130,000	0	130,000
寄 付 金 収 入	200,000	0	200,000
委 託 料 収 入		3,100,000	3,100,000
事 業 収 入		1,500,000	1,500,000
売 上 収 入	0	3,200,000	3,200,000
手 数 料 収 入	200,000	60,000	260,000
雑 収 入 益	500	100	600
当期収入合計(A)	33,030,500	7,860,100	40,890,600
【支出の部】			
事 業 費	24,820,000	3,085,071	27,905,071
管 理 費	8,898,632	0	8,898,632
売 上 原 価 (仕 入)	0	2,900,000	2,900,000
事業活動支出計	33,718,632	5,985,071	39,703,703
事業活動収支差額(A)	△ 688,132	1,875,029	1,186,897
特定預金取崩収入	500,000	0	500,000
活動収入計	500,000	0	500,000
固定資産取得支出	500,000	0	500,000
特定預金支出	2,100,000	0	2,100,000
活動支出計	2,600,000	0	2,600,000
活動収支差額(C)	△ 2,100,000	0	△ 2,100,000
当期収支差額(A)+(C)	△ 2,788,132	1,875,029	△ 913,103
前期繰越収支差額	2,788,132	△ 1,875,029	913,103
次期繰越収支差額	0	0	0

第47回 松江市交通安全総決起大会の開催

11月14日(火)、松江市殿町 島根県民会館中ホールにおいて、約300名の参加を得て盛大に開催されました。大会は、島根県観光キャラクター「しまねっこ」と、島根県警察マスコット「みこぴー君」松江市の観光キャラクター「あっぱれ君」「しじみ姫」等のゆるキャラが大集合し、松江警察署員や交通安全協会事務局職員とともに交通安全を呼び掛ける寸劇で幕開けとなりました。

大会長(松浦 正敬 松江市長)、榊原 優二 松江警察署長の挨拶、柳原 治 松江市議会 総務委員長の祝辞に続き、交通安全に功労のあった団体、個人に対する表彰があり

- 大会長感謝状(2団体5名) ○ 松江警察署長・(一社)松江市交通安全協会会長連名感謝状(2団体7名)
- (一社)松江市交通安全協会・松江警察署長連名表彰(1団体6名) ○ 10年無事故・無違反優良運転者表彰(790名)
- 無事故・無違反推進月間施策優良地区表彰(詳細は、下段)

が、それぞれ授与されました。

その後、参加者は、川津民生児童委員協議会「高の杜コーラス隊」によるコーラスで楽しみ、最後に松江市白鳥クラブ連合会 会長 谷戸 博子氏により大会宣言(案)が朗読・提案され、参加者全員の拍手で採択されて大会は終了しました。



島観連許誌第4807号

第33回 無事故・無違反 推進月間の 実施結果について

8月1日から9月30日までの2ヶ月間、松江市内の29地区安全協会対抗の無事故・無違反推進月間が、A B両グループに分かれ実施されました。

その結果、施策優良地区は次のとおりでした。



Aグループ(人口6,000人以上)

第1位	津田地区交通安全協会 津田地区交通安全対策協議会
第2位	法吉地区交通安全協会 法吉地区交通安全対策協議会
第3位	古志原地区交通安全協会 古志原地区交通安全対策協議会
努力賞	大庭地区交通安全協会 大庭地区交通安全対策協議会
努力賞	玉湯地区交通安全協会 玉湯地区交通安全対策協議会
努力賞	宍道地区交通安全協会 宍道地区交通安全対策協議会



Bグループ(人口6,000人未満)

第1位	島根地区交通安全協会 島根地区交通安全対策協議会
第2位	朝酌地区交通安全協会 朝酌地区交通安全対策協議会
第3位	大野地区交通安全協会 大野地区交通安全対策協議会
努力賞	持田地区交通安全協会 持田地区交通安全対策協議会
努力賞	秋鹿地区交通安全協会 秋鹿地区交通安全対策協議会

交通安全諸活動紹介*

新入学(園)児童に交通安全用品を贈呈

入学・入園期の3月27日(月)、松江市教育委員会において、市内の小学校新一年生と幼稚園・保育施設の園児向けの交通安全用品を、当協会の三島会長が、同教育委員会と松江市に贈呈しました。新一年生への用品は「交通安全反射材付き巾着袋」で、35校1,985名分を、園児への用品は「反射キーホルダー(キラメキーチェーン)」で、希望のあった86施設の数分5,556個を、それぞれ贈呈しました。この贈呈は、子供たちの無事故を願って昭和61年から毎年実施されているもので、今回で31回目となりました。



はつらつモデル地区指定式の開催

松江警察署と当協会は、高齢者の交通事故防止について地域が主体となって取り組む29年度「はつらつモデル地区」に松江市古志原地区を指定し、5月23日(火)、古志原公民館で「指定式」を開催しました。

「指定式」では、榊原 優二 松江警察署長と三島 進 松江市交通安全協会会長から、竹谷 強 古志原公民館長に指定書が交付され、古志原地区交通安全協会の 齋藤 文雄 会長が「地域一体となって交通安全に努める」旨、力強く決意表明されました。

続いて、「体験型交通安全講習会」が開催され、参加した地区の高齢者ら約80人が、交通安全意識を高めました。



決意表明



体験コーナー

春の全国交通安全運動に伴う一斉街頭PR活動

春の全国交通安全運動初日の4月6日(木)、午前7時30分から午前8時20分までの間、松江市役所周辺 国道431号で、同運動の一斉街頭PR活動を実施しました。

国道431号の宍道湖沿い遊歩道において、松江警察署、松江市交通安全協会、松江市交通安全対策連絡協議会、交通指導員会、松江地区安管協会など、参加者約120人が300メートルにわたって並び、交通安全運動実施中などと書かれた横断幕や、夜光反射材着用や飲酒運転追放などと書かれた幟旗を手にして、通行する自動車・自転車運転者、歩行者に、交通ルールの遵守とマナーの向上を呼びかけました。



松江市交通安全ウォークラリー大会の開催

春の全国交通安全運動の一環として、4月9日(日)、松江市、松江警察署、松江地区安全運転管理者協会と連携し、親子孫三世を対象とした参加体験実践型の松江市交通安全ウォークラリー大会が、64チーム235名の参加を得て、末次公園をスタート・ゴールとする約2キロの松江堀川周辺コースで行われました。

参加者は、それぞれ配布された地図を見ながら通行し、途中設けられたチェックポイントで交通安全や松江市の歴史等に関するクイズを解きながら、安全行動、安全知識を競い合いました。



飲酒運転根絶推進リーダー委嘱式

7月11日、飲酒に起因する悲惨な交通事故の根絶を図るため、当協会は松江警察署と連携して、「島根県飲食業生活衛生同業組合松江支部」(約120店)及び「松江小売酒販組合」(約100店)を「飲酒運転根絶推進リーダー」に委嘱するとともに、新たに作成した「飲酒運転根絶ステッカー」を贈呈し、広く飲酒運転根絶意識の高揚を図りました。

式では、榊原優二松江警察署長の挨拶の後、石原正島根県飲食業生活衛生同業組合松江支部長と組嶽晶一松江小売酒販組合理事長に対して、同署長と三島進松江市交通安全協会会長の連名による委嘱状が交付されたのに続き、島根史明松江市総務部総務課長と石倉哲松江地区安全運転管理者協会副会長から「飲酒運転根絶ステッカー」が贈呈されました。

委嘱状を交付された石原支部長から「飲んだら乗らない、乗るなら飲まない、乗るなら飲ませないの『三ない運動』を徹底する」との決意表明がなされました。



竹矢小学校→全国大会へ

7月7日(金)、出雲市湖遊館で開催された交通安全子供自転車島根県大会に、松江市代表として竹矢小学校、出雲郷小学校の2校が出場し、竹矢小学校が優勝、出雲郷小学校が第4位と成績上位を占めました。

優勝した竹矢小学校は、8月9日(水)に開催された全国大会(東京ビッグサイト)に島根県代表として出場し、全国の強豪校がひしめく47チーム中、第28位と健闘しました。



自転車安全リーダー委嘱式

「交通安全子供自転車全国大会」に島根県代表として出場した竹矢小学校の児童等が、8月29日、大会結果報告のため松江警察署長を表敬訪問した際、松江警察署と松江市交通安全協会から「自転車安全リーダー」に委嘱されました。

委嘱されたのは

松江市立竹矢小学校 6年生

- 外谷 咲翔 君 ○ 木村 亮太 君
- 伊藤 綺音 さん ○ 與倉 大介 君

の4人。4人は松江市大会に4年生から参加し、全国大会出場を2年越しで実現。大会出場に際して他のチームメイトとともに練習に励んで自転車の運転技術を磨き、交通ルールを学び、正しい交通マナーを習得してきました。

この委嘱を契機として、在校する竹矢小学校児童のみならず、竹矢地区全体に高い「自転車の安全運転意識」の浸透が期待されます。

自転車安全リーダーを代表して、與倉 大介君が「ルールとマナーを守り、模範となる」と力強く決意表明しました。



高齢ドライバーの安全運転支援に関する協定締結式

9月4日、松江市と松江市社会福祉協議会、松江警察署、松江市交通安全協会の4団体は、車の運転に不安がある高齢者を支援するための協定を結びました。

協定は、前記4団体連携の下に、

- 75歳以上の高齢運転者に対するドライブレコーダーの貸出とドライブレコーダーを活用した安全教育の推進
 - 高齢運転者に対する安全運転サポート車の普及啓発の推進
- を図ろうというもの。

松江警察署であった締結式には、能海 広明副市長と市社協の加藤滋夫会長、榊原優二松江警察署長、当協会の三島進会長が出席。三島会長が「30地区協会に趣旨の浸透を図り、高齢者事故の減少につなげたい」と挨拶しました。



交通安全シルバーセミナーの開催

敬老の日の9月18日(月)、島根県運転免許センターにおいて、「はつらつモデル地区(古志原地区)」にお住まいの65歳以上の運転者及び「安全運転サポート車」実演講習受講を希望する65歳以上の運転者、計30人が参加して、交通安全シルバーセミナーが開催されました。

はじめに、JAF島根支部によるドライブレコーダーに録画した画像を用いた安全運転講習があり、続いて行われた島根ダイハツ(株)による安全運転サポート車の実演講習では参加者全員がサポート車に乗車し、「衝突回避支援自動ブレーキ機能」や「ペダルの踏み間違えによる誤発進抑止機能」を体感しました。



島根スサノオマジック選手を起用した一日警察署長任命式及び広報活動

当協会は、秋の全国交通安全運動初日の9月21日、松江市袖師町 国道9号線「とるば」において、松江警察署をはじめとする関係機関・団体等と連携し、この度、念願のB1リーグに昇格したプロバスケットボールチーム「島根スサノオマジック」の人気選手 岡本 飛竜選手が一日警察署長に任命されたのを機に、その知名度と発信力を活かして通行するドライバーに広く交通安全を呼び掛けました。



交通安全高齢者の主張 松江地区大会

10月5日(木)、松江警察署において、各地区から推薦された代表5名による、自らの貴重な体験に基づいた交通安全についての意見発表が行われました。

大会は、松江地区安管協会 吉岡 登美男 副会長 他4名の審査員による厳正な審査の結果、「夜光反射材着用の推進活動」とのテーマで、着用率向上のための取



組み状況を説明し、「ゴーグルライト」を用いて反射効果を聴衆に訴えた 山本辰郎さん(玉湯地区)が最優秀賞に選ばれ、松江地区代表として島根県大会に出場しました。



交通安全子供自転車松江市大会

10月28日(土)、鹿島総合体育館(ニューウェーブ)において「第50回交通安全子供自転車松江市大会」が開催されました。この大会には、市内の6小学校から、団体9チーム36名、個人5名の児童が参加し、学科と実技競技にチャレンジしました。

大会結果は
優勝 竹矢小学校
準優勝 玉湯小学校
第3位 雑賀小学校 でした。



優勝 竹矢小学校



準優勝 玉湯小学校



第3位 雑賀小学校



上位2チームの竹矢小学校と玉湯小学校が、

出雲市湖遊館で開催される平成30年度島根県大会に、松江市代表として出場することになりました。

島根県大会の優勝チームが、全国大会(東京)に出場することになりますが、松江市代表チームは、これまで8年連続全国大会出場を果たしています。両チームとも、全国大会出場という高い目標を掲げて頑張ってください。

賞誉に輝く

平成30年1月19日(金)、東京都文京区シビックセンターで開催される「第58回交通安全国民運動中央大会」の席上で、次の個人・団体が表彰されます。おめでとうございます。

警察庁長官・全日本交通安全協会会長連名表彰

- 交通栄誉章 緑十字金章 優良運転者
松江市交通安全協会 理事 吉岡 瞭



全日本交通安全協会会長表彰

- 優良団体
島根地区交通安全協会 代表(会長) 石橋 梶廣
- 優良学校
松江市立東出雲中学校 代表(校長) 津田 陽一

「飲酒運転根絶作戦」実施中

～飲んだら乗らない 乗るなら飲まない
乗るなら飲ませない～

12月1日から1月31日までの2ヶ月間

松江市から悲惨な結果を招く飲酒運転を一掃するため、現在実施中です。当協会では、この度、飲酒運転が1件でも減少することを願い、飲酒運転根絶のための啓発用ポスター300枚、ステッカー5,000枚を作成し、関係者(団体)に配布しています。このステッカー・ポスターには、飲酒運転を家庭ぐるみ、会社ぐるみ、地域ぐるみで根絶させたいとの強いメッセージを込めました。是非ご活用ください。

なお、飲酒運転根絶のための施策が優良であった地区に対しては、来る定時総会の席上で表彰することとしています。



ポスターコンクール入賞作品

(一財)島根県交通安全協会主催による恒例のコンクールに、松江市内の小中学校から93点という多数のご応募がありました。

審査の結果、金賞4点、銀賞3点、銅賞3点、佳作6点の入賞(松江市分)がありました。今回、金賞を受賞したポスター4点についてご紹介します。



揖屋小学校 4年 三島 悠良



宍道中学校 1年 狩野 萌



宍道中学校 2年 小谷 風香



宍道中学校 3年 山根 千紘

この度、金賞受賞はありませんでしたが、出雲郷小学校、東出雲中学校の応募作品も力作ぞろいでした。

「安全運転サポート車」の普及啓発

松江警察署 交通第一課長 川上 教彰



皆様方には、平素から交通安全活動をはじめとした各種警察活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

近年、交通事故は減少傾向で推移していますが、当署管内で70歳以上のドライバーが加害者となる交通事故の割合は、平成19年は8.3%のところ平成28年には15.1%と年々増加傾向にあります。

これら高齢運転者による交通事故防止の鍵として「安全運転サポート車」が注目されています。

各自動車メーカーでは、衝突回避自動ブレーキ、車線逸脱警報装置、アクセルとブレーキの踏み間違い時加速抑制装置、ハイビームとロービームの自動切り替えなどの機能を搭載した同車の充実化が図られています。

その機能により追突、人対車両、正面衝突、夜間等の交通事故が減少することが期待でき、関係機関・団体と連携・協働し同車の普及啓発を推進しているところであります。

皆様方も同車の使用を一つの交通事故防止対策と考えてみてほしいと思います。

しかし、まだ同車の普及には期間を費やすと思いますので、当署で推進している「し・じ・み運動」

運転者の方は

- 「しっかり・じっくり・見て」運転
- 上向きライトで「しっかり・自分を・見せる」

歩行者の方は

- 「しっかり・じっくり・見て」横断
- 反射材で「しっかり・自分を・見せる」

を実践して安全運転・安全行動に努めていただきますようお願い致します。



松江警察署からのお知らせ!!

松江警察署「腹話術隊」結成による交通安全講習

幼稚園児・高齢者の交通安全講習では記憶に残る「腹話術」による交通安全講習が効果的であり、その依頼が多数寄せられています。しかし当署では対応可能な講習者が1~2人しかいないことで全てのニーズに応えることが出来ない現状でした。そこで、今年度から当署員から希望者を募り「腹話術隊」を結成して出来るだけニーズに応えられるように日々練習を重ねています。

そして、貴協会が主催の「交通安全子供自転車松江市大会」と「松江市交通安全総決起大会」において、その成果を披露しました。

今後も、幼稚園児や高齢者を中心に「腹話術隊」による交通安全講習を推進して参りますので、要望があれば交通第一課までお問い合わせください。



島観連許諾第4807号

チャイルドシートモデル幼稚園の委嘱

チャイルドシートの着用推進を図るため、5月16日(火)、スティックビルにおいて、当協会長と松江警察署長の連名により、松江市幼稚園白鳥クラブ連合会の7幼稚園を「チャイルドシートモデル幼稚園」に委嘱しました。

委嘱式では、榊原松江警察署長がそれぞれのモデル幼稚園に委嘱状を、三島交通安全協会会長がモデル幼稚園の代表者にチャイルドシートを交付しました。委嘱されたモデル幼稚園では、松江警察署による親子交通安全教室やJAFによるシートベルトコンビンサーを活用した着用体験が行われました。

入会のお願いと特典制度

(一社)松江市交通安全協会では、免許証の取得・更新時に会費をお願いしております。ご協力いただいた方の会費は、悲惨な交通事故を一件でも減らすための経費として活用させていただいております。また、加入された会員様の特典もありますので、是非ご利用ください。



免許証ケース



① 交通安全協賛店での活用

協賛店の加盟店は、現在、県内で約600店、松江市で約300店です。会員証を提示し、ご利用ください。

② 交通傷害見舞金制度

会員の方が、不幸にして交通事故の被害にあわれ31日以上入院された場合など、見舞金を支給いたします。

③ チャイルドシートの貸し出し

予約制により、新生児から6歳までの子どもさんに対し、最長6か月間貸し出しをいたします。返却時には、クリーニング代が別途かかります。また、台数に限りがあり、ご希望にそえない場合がありますので、ご了承ください。

④ 優良運転者表彰 ⑤ 免許証ケースと会員証の配布

※ 詳細については松江市交通安全協会事務局(電話24-8782)まで、お問い合わせください。